



「防災とボランティアの日」「防災とボランティア週間」

防災意識高揚の機会に！！

国では、広く国民が、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として、1月17日を「防災とボランティアの日」及び1月15日から1月21日までを「防災とボランティア週間」と定めています。

「防災とボランティアの日」である1月17日は、平成7年1月17日に兵庫県を中心に発生した「阪神・淡路大震災」があった日です。阪神・淡路大震災は、午前5時46分にマグニチュード7.3、最大震度7の地震で、内陸で発生した、いわゆる直下型地震です。破壊した断層付近で非常に大きな揺れを生じ、神戸市を中心とした阪神地域及び淡路島北部で甚大な被害を受けました。この地震で6千人を超える方々が犠牲となりました。

この地震の発生後、被災地には全国から数多くのボランティアが駆け付け、様々な活動を実施しましたが、このことが被災地の復興に向けた大きな力となり、災害ボランティア活動の重要性が広く認識されるようになりました。

近年は、日本でも地震や津波だけでなく、大雨による洪水や土砂災害など甚大な被害が全国で起こっています。「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」の機会に、短時間でも、災害時の「自助」「共助」「公助」を学ぶ学習などを行い、児童生徒等の防災意識を高められよう取り組んでみましょう。

防災教育副読本「未来への絆」では、阪神・淡路大震災に関する内容を掲載しているページがあります。以下に紹介しますので、授業等でぜひ活用してください。

みやぎ防災教育副読本「未来への絆」—阪神・淡路大震災関連ページ—

○小学校3・4年「地震はいつ起こるかわからない」

○中学校「避難者の一員として」

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/11095/298880.pdf>

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/11095/351765.pdf>



○小学校5・6年「災害から私たちの生活を支える」

○高等学校「災害ボランティアとしての活動」

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/11095/298841.pdf>

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/11095/351834.pdf>



「災害時学校支援チームみやぎ」

養成研修会，フォローアップ講習会が行われました

大規模な災害の発生に伴い、被災地において予想される学校教育の混乱解消に向けて、被災自治体の要請に基づき教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ」の候補者を対象とした第2回養成研修会，フォローアップ講習会を12月24日に開催しました。

☆「第2回養成研修会」の内容

県内から37名の教職員が参加し、以下の研修を行いました。

○講義「災害時の宮城県における応援・受援体制」

講師 復興・危機管理部 復興・危機管理総務課 危機管理企画専門監 石井 一将

○講義「熊本地震での児童生徒への支援 心のケアを通して」

講師 利府町立菅谷台小学校 教頭 遠藤 安孝

○演習「被災した学校への支援方法を考える」

講師 利府町立菅谷台小学校 教頭 遠藤 安孝

柴田町立槻木小学校 養護教諭 吉本 有希

仙台第二高等学校 養護教諭 金野 智津

※演習は、フォローアップ講習会の受講者と合同で実施しました。



今年度は、37名の教職員が養成研修の全課程を修了し、派遣候補者のリストに登録されました。

☆「フォローアップ講習会」の内容

養成研修修了者を対象に、以下の研修会を行いました。

(27名参加)

○講義「東日本台風と被災地での対応～水害等で被災した学校の現状～」

講師 東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛 氏

○演習「被災した学校への支援方法を考える」

※演習は、養成研修会の受講者と合同で実施しました。



紹介 国の動向（文部科学省 HP より）

「第3次学校安全の推進に関する計画」の策定に向けて、中央教育審議会での審議が行われています。

令和3年3月12日、文部科学大臣から中央教育審議会へ「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について」が諮問されました。これを受けて、同年5月からは、中央教育審議会初等中等教育分科会の下に設置された学校安全部会において、学校安全の充実に関する審議が行われています。

令和3年12月22日（水）に開催された学校安全部会（第9回）では、「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について」（答申案）が審議されました。今後5年間（令和4年度から令和8年度）の学校安全に係る基本的方向性と具体的な方策を示す計画の策定に関わる、中央教育審議会答申の取りまとめに向けた今後の審議にご注目ください。